

平成30年度 環境活動スタートプロジェクト事業

1 実施校

福島市立清水中学校

2 実施日

平成30年 11月17日(土)

3 講演会の様子

全校生を対象に、「地球温暖化と福島の気候の変化」をテーマとし、福島地方気象台調査官である安田宏明氏を講師として実施しました。



4 講演を聞いての感想

- 日本だけではなく世界の人が気をつけないといけないので、世界の人にもこのような地球温暖化の恐ろしさや防止策を知ってほしいと思います。
 - 未来のためにも、私たちは、考えて行動すべきだということがわかりました。
 - 物を大切に使用したり、食べられる量だけ買って、マイバックを持ち歩き、ゴミや要らない物を減らすようにしたいです。
 - 福島の未来のためにも、今できることを実行していきたいと思いました。
- ※次のページへ進む

- 「ゴミの分別を下さい」「水を出しっぱなしにしない」など言われ、めんどくさいと思っていましたが、これからはしっかりと地球温暖化のことを考えてゴミの分別などをしていきたいです。
- 地球温暖化はとても難しく、自分にできることはないと思っていましたが、今回の講演会で、自分にできることがあることに気づきました。
- そんなに遠くない未来を守るためにも、地球温暖化の防止などはとても大切だと思いました。
- 理解しただけで終わりにせず、まずは自分から対策をとっていけるよう心がけ、未来に貢献できるような取り組みをしたいです。
- 今まで、地球温暖化の対策は「私たちがする」というより、国や県でやるようなものだと思っていました。しかし、今回のお話を聞いて、日頃から先生方や両親に言われている電気のつけっぱなしやクーラーのつけすぎなど、簡単なことをすることで防止につながると知り、やろうと思いました。
- 地球温暖化にあまり興味はありませんでした。しかし、今日のお話で地球温暖化はいろいろなことに影響していると知り、自分にも何かできることをしようと思いました。
- 今の自分たちが良い環境にいるからいいのではなく、次の世代の人たちも自分と同じような環境で暮らせるようにすることが今の自分にできることだと思いました。
- 今回は、詳しく地球温暖化を知ることができ、今どんな状態なのかも知ることができました。持続可能な社会にするには、自分たちにできることを徹底的に行なうことが大切ということがわかりました。
- 地球温暖化は、もうどうしようもないことだと思っていましたが、僕たちが行動すればその影響を小さくすることができるということを知りました。
- 1人1人の節水や節約、分別の協力によって自分たちの将来に影響するのだと感じ、自分たちが、福島を担っていくという気持ちで生活していきたい。
- 地球温暖化は「自分には関係ない」と思っていましたが、自分の身近な例を知ることで、地球温暖化について考える良いきっかけとなりました。
- 普段は地球温暖化なんて気にせず生活しているけれど、地球の将来を考えると地球に住む1人1人の心がけが大事だということがわかりました。
- 僕の家では、エコバッグなどを活用しているけど、節電や節水ができていないので、取り組んでいきたいと思います。
- 影響が明確に表れている世界と、福島と向き合って、節電等から対策したいと思います。
- 毎日生活しているうえで、地球温暖化を身近に感じたことはなかったけど、今日の講演を聞いて、決して他人事ではないことがわかりました。
- この講演を聞く前までは、「どうせ私1人がやっても変わらないだろう」と思っていましたが、1年間シャワーを節水することで、大きく変わるということを知り、今日から私も家族に伝えて、できることを積極的にやりたいです。
- お話を聞いていろんなことを考えさせられました。今年の夏は暑かったり、災害が多かったりなど大変な夏でした。このまま地球温暖化が進んでいくことで今回よりもひどい災害が増えるのかと思うと怖く思いました。
- 資料の中の対策を行なわなかった最悪の場合の状態にならないようにするためにも、身近なことから始め、少しでも温暖化対策に貢献できるよう取り組み、持続可能な社会をつくるうえで、私たちができることを1人1人が実行していかななくてはならないと思いました。